

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 成果指標進捗状況調査表

達成状況：◎；目標を達成している、○；目標に近づいている、△；目標に近づいていない、－；現況値などが把握できない

指標項目	計画策定時	現況値	令和4年度末実績	目標 望ましい方向性	達成 状況				
1 生活環境									
成果指標									
大気環境基準適合項目 (NO ₂ , SPM, PM2.5, オキシ ダント, CO)	年度 数値	2015 3項目/5項目	年度 数値	2020 4項目/5項目	年度 数値	2022 4項目/5項目	年度 数値	2026 5項目/5項目	○
水質環境基準適合率 河川 (BOD)	年度 数値	2015 72.2%	年度 数値	2020 91.7%	年度 数値	2022 100%	年度 数値	2026 100%	◎
水質環境基準適合率 (海域COD)	年度 数値	2015 91.6%	年度 数値	2020 81.8%	年度 数値	2022 63.6%	年度 数値	2026 100%	△
環境指標									
工場・事業場立入におけ る規制基準適合率	年度 数値	2015 97.3%	年度 数値	2020 98.4%	年度 数値	2022 100%		100%	◎
道路騒音環境基準適合率	年度 数値	2015 98.3%	年度 数値	2020 100%	年度 数値	2022 97.1%		100%	○
新幹線騒音環境基準適合 地点	年度 数値	2015 1地点/4地点	年度 数値	2020 2地点/4地点	年度 数値	2022 3地点/4地点		全地点	○
都市環境騒音環境基準適 合地点	年度 数値	2015 16地点/16地点	年度 数値	2020 16地点/16地点	年度 数値	2022 16地点/16地点		全地点	◎
放置自転車の台数	年度 数値	2015 －	年度 数値	2020 92台	年度 数値	2022 107台		→	○
コスモス等の種子配布件 数	年度 数値	2015 －	年度 数値	2020 119件	年度 数値	2022 136件		↑	◎
地域清掃活動参加のべ人 数	年度 数値	2015 34,756人	年度 数値	2020 35,682人	年度 数値	2022 42,016人		↑	◎
目標・望ましい方向性との対比							◎：目標・目指す方向を達成している		5/10
							○：目標・目指す方向に近づいている		4/10
							△：目標・目指す方向に近づいていない		1/10
							－：現況値などの把握ができない		0/10
【評価の理由及び今後の方向性】									
・水質環境基準適合率（海域COD） 5地点において、環境基準値を超過したことによる。 原因として、調査2日前の降雨の影響と思われる。調査は年間を通じた代表する日として、5月と11月の年2回 調査しており、できる限り降雨等の影響のない日に調査を行う。									

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 成果指標進捗状況調査表

達成状況：◎；目標を達成している、○；目標に近づいている、△；目標に近づいていない、－；現況値などが把握できない

指標項目	計画策定時	現況値	令和4年度末実績	目標 望ましい方向性	達成 状況					
2 自然環境										
成果指標										
一人当たりの都市公園等の面積	年度 数値	2015 15㎡	年度 数値	2020 15.6㎡	年度 数値	2022 16.1㎡	年度 数値	2026 16㎡	◎	
環境指標										
生活排水処理率	年度 数値	2015 97.6%	年度 数値	2020 98.8%	年度 数値	2022 98.5%		↑	○	
水洗化率	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 92.8%	年度 数値	2022 93.1%		↑	○	
指定保存樹の数	年度 数値	2015 19本	年度 数値	2020 17本	年度 数値	2022 17本		→	○	
有租地の田・畑・山林の総面積	年度 数値	2015 4,301千㎡	年度 数値	2020 3,999千㎡	年度 数値	2022 3,921千㎡		→	○	
雨水貯留タンク設置助成数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 16件	年度 数値	2022 14件		↑	○	
支援ボランティア団体数（公園・緑地の管理）	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 23件	年度 数値	2022 23件		↑	○	
ヌートリアの捕獲数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 4頭	年度 数値	2022 17頭		↑	○	
アライグマの捕獲数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 60頭	年度 数値	2022 59頭		↑	○	
ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）の捕獲数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 70匹	年度 数値	2022 1匹		↑	△	
海底耕耘の面積	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 35ha	年度 数値	2022 35ha		→	○	
目標・望ましい方向性との対比		◎：目標・目指す方向を達成している					1/11			
		○：目標・目指す方向に近づいている					9/11			
		△：目標・目指す方向に近づいていない					1/11			
		－：現況値などの把握ができない					0/11			
【評価の理由及び今後の方向性】										

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 成果指標進捗状況調査表

達成状況：◎；目標を達成している、○；目標に近づいている、△；目標に近づいていない、－；現況値などが把握できない

指標項目	計画策定時	現況値	令和4年度末実績	目標 望ましい方向性	達成 状況				
3 地球環境									
成果指標									
市域全体の温室効果ガス 排出量	年度 数値	2013（基準年） 2,397千t-CO2	年度 数値	2020 1,884千t-CO2	年度 数値	— —	年度 数値	2030 2013年度比46%削減	—
環境指標									
住宅用太陽光発電設備設 置戸数※	年度 数値	2015 2,600戸 (2,292戸)	年度 数値	2020 — (3,057戸)	年度 数値	2021 — (3,237戸)		↑	○
高効率給湯器設置戸数	年度 数値	2015 10,050戸	年度 数値	2020 13,189戸	年度 数値	2022 13,877戸		↑	○
公用車への次世代自動車の導入	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 1台	年度 数値	2022 5台		↑	◎
経営耕地面積（地産地消）	年度 数値	2015 11,320a	年度 数値	2020 7,332a	年度 数値	2022 7,332a		→	○
市営駐輪場台数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 3,777台	年度 数値	2022 3,777台		→	○
1人1日当たりのごみ排出量（集団回収量を含む）	年度 数値	2015 920g	年度 数値	2019 853g	年度 数値	2021 820g		↓	◎
リサイクル率	年度 数値	2015 15.3%	年度 数値	2019 21.7%	年度 数値	2021 19.3%		↑	◎
熱中症による搬送者数	年度 数値	2015 —	年度 数値	2020 51件	年度 数値	2022 44件		↓	○
一人当たりの都市公園等の面積	年度 数値	2015 15㎡	年度 数値	2020 15.6㎡	年度 数値	2022 16.1㎡		↑	○
目標・望ましい方向性との対比		◎：目標・目指す方向を達成している				3/10			
		○：目標・目指す方向に近づいている				6/10			
		△：目標・目指す方向に近づいていない				0/10			
		－：現況値などの把握ができない				1/10			
【評価の理由及び今後の方向性】									
<p>・市域全体の温室効果ガス排出量 高砂市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改訂により、算出方法等を見直すため、令和4年度分は算定せず。</p> <p>※ 住宅用太陽光発電設置戸数は、2016（平成28）年度からの電力自由化に伴いデータは非公開となっている。（ ）内に示す数値は、環境省による「令和元年度自治体排出量カルテ」及び経済産業省による「固定買取制度情報公開用ウェブサイト」に示すFIT制度による太陽光発電（10kW未満）設備の導入件数を引用している。</p>									

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 成果指標進捗状況調査表

達成状況：◎；目標を達成している、○；目標に近づいている、△；目標に近づいていない、－；現況値などが把握できない

指標項目	計画策定時	現況値	令和4年度末実績	目標 望ましい方向性	達成 状況				
4 環境教育									
成果指標									
市・小中学校等が実施する環境に関する行事・環境体験授業の実施数									
生活環境に関すること	年度	2015	年度	2020	年度	2022	年度	2026	○
	数値	54項目	数値	45項目	数値	39項目	数値	60項目	
自然環境に関すること	年度	2015	年度	2020	年度	2022	年度	2026	◎
	数値	70項目	数値	77項目	数値	112項目	数値	80項目	
地球環境に関すること	年度	2015	年度	2020	年度	2022	年度	2026	◎
	数値	47項目	数値	32項目	数値	74項目	数値	60項目	
環境指標									
エコ教室の事業所登録数	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	○	
	数値	－	数値	12事業所	数値	12事業所			
エコクリーンピアはりまの見学	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	○	
	数値	－	数値	－	数値	2,161人			
段ボールコンポストを使ったリサイクル体験学習	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	◎	
	数値	－	数値	4校	数値	6校			
小学校での環境学習数	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	◎	
	数値	－	数値	92件	数値	123件			
中学校での環境学習数	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	○	
	数値	－	数値	23件	数値	22件			
環境講座の実施数	年度	2015	年度	2020	年度	2022	↑	◎	
	数値	－	数値	4件	数値	6件			
目標・望ましい方向性との対比						◎：目標・目指す方向を達成している		5/9	
						○：目標・目指す方向に近づいている		4/9	
						△：目標・目指す方向に近づいていない		0/9	
						－：現況値などの把握ができない		0/9	
【評価の理由及び今後の方向性】									
・市・小中学校等が実施する環境に関する行事・環境体験授業の実施数については、新型コロナウイルスによる影響前の水準に回復してきている。									

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標1 美しく、快適に暮らせるまちにします【生活環境】							
1 地域環境の保全							
事業者への調査・指導	環境法令や協定に基づき、事業者に対し立入調査及び指導を行い、不適正な事案については、改善指導を行います。	環境保全協定締結工場数：16箇所 協定立入調査：61件 環境保全条例立入調査：31件	関係法令や協定に基づき、事業者に対し立入調査及び指導を行う。	環境保全協定締結工場数：16箇所 協定立入調査：60件 環境保全条例立入調査：25件	B	関係法令や協定に基づき、事業者に対し立入調査及び指導を行う。	継続
苦情への対応	市民からの苦情相談・申出に対し、調査及び指導を行います。	苦情処理件数：48件	市民からの苦情相談・申出に対し、調査及び指導を行う。	苦情処理件数：38件	B	市民からの苦情相談・申出に対し、調査及び指導を行う。	継続
苦情への対応	苦情処理後のフォローアップについても検討します。	令和4年度から	必要に応じて苦情処理後のフォローアップを行う。	フォローアップを行った苦情処理件数：4件	B	必要に応じて苦情処理後のフォローアップを行う。	継続
事業者への調査・指導	不適正な野外焼却の禁止等の徹底を図ります。	令和4年度から	高砂市のホームページ等で野外焼却の禁止等の周知を行う。	高砂市のホームページ等で野外焼却の禁止等の周知を行った。	B	高砂市のホームページ等で野外焼却の禁止等の周知を行う。	継続
事業者への調査・指導	PCB廃棄物が適正に処理されるよう、啓発・指導を行います。	令和4年度から	PCB廃棄物所有事業者の処分状況等の把握を行い、処分期限の周知や適切な処分の周知を行っている。	PCB廃棄物所有事業者の処分状況等の把握を行い、処分期限の周知や適切な処分の周知を行った。	B	PCB廃棄物所有事業者の処分状況等の把握を行い、処分期限の周知や適切な処分の周知を行っている。	継続
2 環境の監視と情報発信							
環境数値の公表	大気、水質、騒音等の環境監視測定を計画的に行います。	令和4年度から	大気、水質、騒音等の環境監視測定を計画的に行う。	計画どおり大気、水質、騒音等測定を行った。	B	大気、水質、騒音等の環境監視測定を計画的に行う。	継続
環境数値の公表	「高砂市の環境」を作成し、環境監視結果の公表や公害情報等の提供を行います。	「高砂市の環境」（令和2年度版）を編集し、公表した。	「高砂市の環境」（令和3年度版）の編集、公表。	「高砂市の環境」（令和3年度版）を編集し、公表した。	B	令和4年度版を編集、公表する。	継続
環境数値の公表	環境基準に不適合な項目については、その要因分析を行い、環境基準に適合するよう努めます。	令和4年度から	環境基準不適合な項目については引き続き継続的な分析を行い、要因分析に努める。	オキシダント等事業者が原因と考えられる項目については削減するように対策を求めた。	B	環境基準不適合な項目については引き続き継続的な分析を行い、要因分析に努める。	継続
健康被害への対応	健康被害等の相談があれば対応し、必要な健康情報の提供を行います。	相談実績なし	健康被害等相談があれば対応健康情報の提供	相談実績なし	B	健康被害等相談があれば対応健康情報の提供	継続
健康被害への対応	光化学スモッグやPM2.5などの注意喚起情報を提供します。	令和4年度から	高砂市で注意報等発令されたときは周知を行う。	高砂市で注意報等発令されなかった。	B	高砂市で注意報等発令されたときは周知を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標1 美しく、快適に暮らせるまちにします【生活環境】							
3 景観の保全							
緑の保全・育成	建築物及びその敷地における緑化について、条例に基づき適切に審査・指導を行います。	令和4年度から	条例に基づき適正な審査を行う。	緑化届出～10件	B	条例に基づき適正な審査を行う。	継続
緑の保全・育成	農地の転作の一環または耕作放棄地の改善対策として、コスモス等の種子等を提供し、緑化を推進します。	コスモス 45件 ソバ 6件 ひまわり 2件 レンゲ 38件 菜の花 10件 ヘアリーベッチ 23件	高砂市農業再生協議会より、コスモスや菜の花等の種子の配布を実施。	コスモス 43件 ソバ 4件 ひまわり 10件 レンゲ 37件 菜の花 9件 ヘアリーベッチ 33件	B	高砂市農業再生協議会より、コスモスや菜の花等の種子の配布を実施。	継続
景観の保全	市内の水路において、浚渫(しゅんせつ)清掃及び除草清掃を行います。	要望のあった箇所について、浚渫清掃及び除草を行った。	市内の水路において、浚渫清掃及び除草清掃を行う。	要望のあった箇所について、浚渫清掃及び除草を行った。	B	市民より要望のあった水路において、浚渫清掃及び除草清掃を適宜実施している。	継続
所有物、廃棄物等の適正な管理及び処理	駅周辺における放置自転車が減少するよう、自転車利用者のマナーの周知徹底に取組みます。	自転車等の撤去を92台行い、うち38台を返還した。	市内6駅周辺で広報活動を継続し、放置自転車等を減少させる。また交通安全教育実施時に駅周辺の放置禁止区域の説明を行い、周知を計る。	自転車等の撤去を107台行い、うち49台を返還した。	B	市内6駅周辺で広報活動を継続し、放置自転車等を減少させる。また交通安全教育実施時に駅周辺の放置禁止区域の説明を行い、周知を計る。	継続
所有物、廃棄物等の適正な管理及び処理	県等関係機関と連携したパトロールの実施や、不法投棄看板を設置するなど不法投棄の防止に取組みます。	令和4年度から	相談対応を行う。不法投棄の看板等の要望がある場合は兵庫県と調整。	相談実績なし。	B	不法投棄に関して県等関係機関と情報共有するとともに、不法投棄の看板設置等要望がある場合は兵庫県と調整しながら対応する。	継続
空き地・空き家への対応	条例に基づき、空き家の所有者に対し、衛生上有害になることや景観を損なわないように適正に管理するよう、継続して指導を行います。	管理不全の空家等所有者に対し、指導を行った。苦情処理件数：95件	空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。	管理不全の空家等所有者に対し、指導を行った。苦情処理件数：90件	B	管理不全の空家等所有者に対し、指導を行う。	継続
空き地・空き家への対応	空き地の雑草の繁茂等について、条例に基づき所有者に対し空き地を適正に管理するよう継続的に指導します。	苦情処理件数：37件	空地の苦情対応を行う。	苦情処理件数：33件	B	空地の苦情対応を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標1 美しく、快適に暮らせるまちにします【生活環境】							
4 ごみが落ちていないまち							
地域清掃活動への支援	地域清掃活動によるごみ収集を実施します。	地域清掃活動によるごみ収集を実施した。（189件の収集を実施）	地域清掃活動によるごみ収集を実施する。	地域清掃活動によるごみ収集を実施した。（211件の収集を実施）	B	地域清掃活動によるごみ収集を実施する。	継続
地域清掃活動への支援	地域清掃活動で使用するごみ袋及び土のう袋の無料配布及び回収を行います。	地域清掃活動に使用するごみ袋を無償配布した。（83団体、48,620枚312,870円）	地域清掃活動に使用するごみ袋を無償配布した。	86団体に55,450枚のごみ袋を配布し、各地域の清掃活動を促進した。	B	地域清掃で発生したごみを入れるごみ袋の無料配布を実施する。	継続
地域清掃活動への支援	地域清掃活動で使用するごみ袋及び土のう袋の無料配布及び回収を行います。	土のう袋を配布し、回収箇所の報告をもらい業者に依頼し回収した。	地域清掃で発生した土砂を入れる土のう袋の無料配布及び回収を行う。	土のう袋を配布し、回収箇所の報告をもらい業者に依頼し回収した。	B	地域清掃で発生した土砂を入れる土のう袋の無料配布及び回収を随時行っている。	継続
地域清掃活動への支援	市民のボランティアによる環境美化活動を支援するアダプトプログラムを推進します。	9団体に対して、清掃美化活動に必要な清掃用具の支給等を行った。	アダプトプログラム推進事業の周知を行うとともに、アダプトプログラム登録団体に対して、清掃美化活動に必要な清掃用具の支給した。	10団体に対して、清掃美化活動に必要な清掃用具の支給等を行った。	B	アダプトプログラム推進事業の周知を行うとともに、アダプトプログラム登録団体に対して、清掃美化活動に必要な清掃用具の支給する。	継続
環境美化対策の推進	犬のふんの持ち帰り啓発活動（イエローカード作戦）を実施します。	参加団体数46、イエローカード配布数205枚、ポスター配布数151枚	犬のふんの持ち帰り啓発活動（イエローカード作戦）を実施する。	参加団体数40、イエローカード207枚、ポスター配布数157枚	B	犬のふんの持ち帰り啓発活動（イエローカード作戦）を実施する。	継続
環境美化対策の推進	飼い主のいない猫への無責任な餌やりに対するマナーの周知徹底を図るとともに、飼い主のいない猫対策に取り組めます。	令和4年度から	飼い主のいない猫への無責任な餌やりに対するマナーの周知徹底を図るとともに、飼い主のいない猫対策に取り組む。	マナー向上のためホームページ等により情報発信し、猫よけ器の貸出を実施している。また飼い主のいない猫に対して不妊・去勢手術費用の助成を開始した。	B	マナー向上のためホームページ等により情報発信し、猫よけ器の貸出や飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用を実施する。	継続
環境美化対策の推進	ごみ出しマナー・ルールの周知啓発を行います。	家庭ごみの分け方・出し方の全戸配布、広報たかさご、高砂市公式アプリ等により、ごみ出しマナー・ルールの周知啓発を行った。また、随時ごみの分け方・出し方についての出前講座を実施した。	広報たかさご、ホームページ、高砂市公式アプリにより、ごみ出しマナー・ルールの周知啓発を行う。	家庭ごみの分け方・出し方の全戸配布、広報たかさご、高砂市公式アプリ等により、ごみ出しマナー・ルールの周知啓発を行った。また、ごみの分け方・出し方についての出前講座を3回実施した。	B	家庭ごみの分け方・出し方の全戸配布、広報たかさご、高砂市公式アプリ等により、ごみ出しマナー・ルールの周知啓発を行う。また、出前講座の申し込みがあれば、ごみの分け方・出し方について周知啓発を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>

A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。

B:取組、実績、効果ともに過年並である。

C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標2 水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生します【自然環境】							
5 水質汚濁の防止							
生活排水の適正処理	水洗化率向上のため、接続の周知徹底を行います。	約70戸が水洗化をしたことで93%となった。	悪臭の苦情のあったおり、近隣の未接続家屋に水洗化PRを実施する。	約60戸が水洗化をしたことで93.1%となった。	B	悪臭の苦情のあったおり、近隣の未接続家屋に水洗化PRを実施する。	継続
生活排水の適正処理	下水道整備区域以外の区域において、浄化槽設置整備助成事業により合併浄化槽の設置を推進します。	浄化槽設置費補助事業により助成した。（9件3,316,000円）	国庫補助を活用し、拡充した浄化槽設置整備助成事業で助成をする。	浄化槽設置費補助事業により助成した。（6件2,074,000円）	B	国庫補助を活用し、拡充した浄化槽設置整備助成事業で助成をする。	継続
6 水と緑の保全							
緑地の推進	「高砂市緑の基本計画」による緑の目標と基本方針により、緑化を推進します。	緑のまちづくり連絡調整会議を開催し、緑の基本計画に記載した施策の進捗管理を行い、共有した。また、今後の公園のあり方について議論を行った。	緑の目標と基本方針に基づき、生活文化都市の形成を目指す。	9月に第1回緑のまちづくり連絡調整会議を開催し、令和3年度に実施した施策の進捗管理を行い、共有した。11月に第2回の会議を開催し、令和5年からの中期実施方針の各課の見直し結果について報告し、共有した。	B	緑のまちづくり連絡調整会議を開催し、緑の基本計画に記載した施策の進捗管理を行い、共有する。	継続
緑地の保全	保存樹に相当する古木等については、新たに保存樹の指定に努めます。	保存樹指定申請0件、取消申請0件	保存樹指定申請があれば適切に対応する。	保存樹指定申請0件、取消申請0件	B	保存樹指定申請があれば適切に対応する。	継続
ため池の保全	ため池の定期点検を実施し、ため池の保全に取組みます。	弟池の改修工事については、継続中です。	耐震不足による弟池の改修工事	弟池の改修工事については、継続中です。	B	耐震不足による弟池の改修工事を県事業により継続して施工中である。	継続
農地の保全	緑肥植物の活用や減農薬栽培の情報を提供します。	ヘアリーベッチの種子を363.2kg交付し、1196.7aの面積を栽培している。	ヘアリーベッチを緑肥として栽培を行う情報を提供し、ヘアリーベッチの種子を配布した。	ヘアリーベッチの種子を370.1kg交付し、1218.6aの面積を栽培している。	B	ヘアリーベッチを緑肥として栽培を行う情報を提供し、種子の配布を行う予定。	継続
農地の保全	農業者等による農地の多面的機能を維持・発揮させるため共同活動を支援します。	田14,953a 畑801a 水路96.6km ため池27か所で保全活動を行った。	多面的機能支払交付金を活用し保全活動を支援予定。	田14,784a 畑796a 水路96.6km ため池27か所で保全活動を行った。	B	多面的機能支払交付金を活用し保全活動を支援予定。	継続
水質の保全	田んぼダムに取組む農地が増えるように情報発信を行い、せき板設置に関する支援、指導を行います。	阿弥陀小学校5年生を対象に田植え体験、稲刈り体験を実施して農業に関心を持ってもらい、未来の農業を支える人材の育成を行った。	阿弥陀小学校5年生を対象に田植え体験、稲刈り体験を実施して農業に関心を持ってもらい、未来の農業を支える人材の育成を行う。	阿弥陀小学校5年生を対象に田植え体験、稲刈り体験を実施して農業に関心を持ってもらい、未来の農業を支える人材の育成を行った。	B	阿弥陀小学校5年生を対象に田植え体験、稲刈り体験を実施して農業に関心を持ってもらい、未来の農業を支える人材の育成を行う。	継続
緑地、ため池、農地等の健全な生態系の保全	ため池の水を抜き（かいぼり）、外来生物の捕獲、駆除を行います。	令和4年度から	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲する。	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲した。	B	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲する。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標2 水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生します【自然環境】							
7 健全な水循環の保全							
雨水貯留施設の設置促進	雨水貯留タンクの設置費用の助成を行い、雨水貯留タンクの設置を促進することで、急激な大雨による都市型洪水や、浸水被害の軽減を図るとともに、雨水の利活用を推進します。	令和4年度から	雨水貯留タンクを設置する者に対し、設置費用の助成を実施。	雨水貯留タンクの設置費用の助成を14件行った。	B	雨水貯留タンクを設置する者に対し、設置費用の助成を実施。	継続
保水性舗装・透水性舗装の推進	雨水の地下浸透を図ります。（保水性舗装・透水性舗装）	歩道整備時に透水性舗装を実施した。	雨水地下浸透を図った。	歩道整備時に透水性舗装を実施した。	B	地域性や現況等を考慮して、可能な範囲では推進する。	継続
ため池の保全【再掲】	ため池の定期点検を実施し、ため池の保全に取組みます。【再掲】	令和4年度から	定期点検は5年に1度実施するため実績なし。	定期点検は5年に1度実施するため実績なし。	B	市内の農業用ため池17池の定期点検を実施し、ため池の保全に取組む。	継続
農地の保全【再掲】	保水能力の高い水田の保全のために、田んぼダムに取組む農地が増えるように情報発信を行い、せき板設置に関する支援、指導を行います。【再掲】	令和4年度から	多面的機能支払交付金を活用し保全活動を支援予定。	中筋・曽根地区でせき板の設置等の活動を行った。	B	多面的機能支払交付金を活用し保全活動を支援予定。	継続
8 公園や緑地の管理							
公園の維持・管理	公園の維持、管理を地元団体が管理することで、地域住民に親しみを持ってもらうよう助成を行います。	都市公園指定管理委託料 91,488,000円 公園等維持管理委託料 59,914,430円 環境緑地維持管理委託料 10,971,663円 緑化推進受託事業委託料 8,313,391円 合計171,540,987円	公園、緑地等を管理する中で、地元住民に親しみを持ってもらうよう、清掃等を地元団体に委託した。	都市公園指定管理委託料 92,700,000円 公園等維持管理委託料 60,569,209円 環境緑地維持管理委託料 10,992,052円 緑化推進受託事業委託料 8,401,988円 合計172,663,249円	B	公園、緑地等を管理する中で、地元住民に親しみを持ってもらうよう、清掃等を地元団体に委託した。	継続
地域資源の活用	登山マップを作成・配布し、情報発信に取組みます。	高砂市観光交流ビューローが作成した高御位山の登山マップおよび観詰bookを配布し、情報発信に取り組んだ。また、来訪を検討している方からの問い合わせに対し、適切に対応した。	高砂市観光交流ビューローが作成した高御位山の登山マップおよび観詰bookを配布し、情報発信に取り組む。また、来訪を検討している方からの問い合わせに対し、適切に対応する。	高砂市観光交流ビューローが作成した高御位山の登山マップおよび観詰bookを配布し、情報発信に取り組んだ。また、来訪を検討している方からの問い合わせに対し、適切に対応した。	B	高砂市観光交流ビューローが作成した高御位山の登山マップおよび観詰bookを配布し、情報発信に取り組む。また、来訪を検討している方からの問い合わせに対し、適切に対応する。	継続
地域資源の活用	国史跡整備事業を実施し、地域資源の適正な管理や積極的な活用を図ります。	生石神社・加茂神社が主体となって実施した史跡整備工事等を支援した。	国史跡整備基本計画にもとづき、史跡整備工事等を実施する。	国史跡整備基本計画にもとづき、自然環境の保全に配慮しながら、高砂市と生石神社が史跡整備工事を実施した。	B	国史跡整備基本計画にもとづき、史跡整備工事等を実施する。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>

A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標2 水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生します【自然環境】							
9 生物多様性保全							
市の自然の保全活動（山、ため池、海・川）	関係機関と調整し、本市の自然環境について情報発信を行います。	ため池周辺を散策し、ため池に生息する生物を観察する自然観察会を1回行った。参加者：小学生親子14名	ため池周辺を散策し、ため池に生息する生物を観察する自然観察会を実施する。	参加申込者がいなかったため、実施できなかった。	C	内容を見直し、自然観察会を実施。 ・11月5日（日）開催、参加者数19名（小学生8名、保護者9名、未就学児2名）	継続
動植物に関する情報の収集・発信	市域に生育・生息する固有の植物・生物、生態系について、情報を収集・整理・発信していきます。	自然観察会ではため池に生息する外来生物の学習も行った。	ため池周辺を散策し、ため池に生息する生物を観察する自然観察会を実施する。	参加申込者がいなかったため、実施できなかった。	C	自然観察会のフィールドワークを通じて、地域の自然環境への理解を深める。	継続
地域資源の保全	地域資源の適正な管理や積極的な活用を図ります。	令和4年度から	固有生物、生態系等について、情報収集する。	固有生物、生態系等について、情報収集している。	B	地域固有の野生生物について、地域で活動するグループ等の情報収集を検討している。	継続
外来生物対策	ため池で池の水を抜き（かいぼり）、外来生物（ミシシippアカミミガメ（通称ミドリガメ）等）の捕獲、駆除を行います。	令和4年度から	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲する。	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲した。	B	ため池に生息する外来生物を発見次第捕獲する。	継続
外来生物対策	特定外来生物について、アライグマやヌートリアなどの捕獲、駆除を行うとともに、ナガエツルノゲイトウなどについて、注意喚起の情報発信を行います。	令和4年度から	ナガエツルノゲイトウについて、各水利組合に対して注意喚起の情報発信を行う。	ナガエツルノゲイトウについて、各水利組合に対して注意喚起の情報発信を行った。	B	ナガエツルノゲイトウについて、各水利組合に対して注意喚起の情報発信を行う。	継続
「豊かな海」を目指す取組の推進	海底耕耘、海底清掃、アサリの放流、藻場の育成、クルマエビ・ガザミなどの種苗放流等の取組を促進します。	令和4年度から	高砂市漁業組合連合会で種苗放流など資源保全活動、高砂市豊かな海を守る会で、海底耕耘など環境保全活動を行った。	高砂市漁業組合連合会で、クロアワビ種苗1,500個、ヒラメ種苗24,000尾、マナマコ5,000個、ガザミ種苗396,000尾、キジハタ種苗3,000尾、クマエビ種苗90,000尾、サザエ種苗1,500個、マコガレイ種苗27,000尾の放流。高砂市豊かな海を守る会で、それぞれ35haを海底耕耘及び清掃活動、藻場育成施設を15haに設置、水質改善のためハマグリ440kgを放流、また活動区域である93.75haの効果調査を行った。	B	海底耕耘、海底清掃、アサリの放流、藻場の育成、クルマエビ・ガザミなどの種苗放流等の取組を促進します。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
10 再生可能エネルギーの導入促進							
地域協議会の実施	地球温暖化対策地域協議会を年1回開催し、地球温暖化対策について協議を行います。	地球温暖化対策地域協議会を1回開催した。	第2次高砂市地球温暖化対策実行計画を策定するに当たり、地球温暖化対策地域協議会を3回開催する。	地球温暖化対策地域協議会を3回開催し、計画策定について協議を行った。	B	地球温暖化対策地域協議会を開催し、地球温暖化対策について協議する。	継続
地球温暖化に関する啓発及び情報発信	ホームページや広報誌等において、再生可能エネルギー推進のお知らせを掲載するとともに、補助制度や市による再生可能エネルギーの活用状況を公開します。	ホームページと広報たかさごで再生可能エネルギー推進のお知らせを掲載し、市による再生可能エネルギーの活用状況もホームページで公開した。	ホームページや広報誌で再生可能エネルギー推進の啓発をするとともに、市の補助制度（家庭用蓄電池システム及び太陽光発電システムとの同時設置導入補助）を紹介する。	ホームページや広報誌で再生可能エネルギー推進を啓発し、市の補助制度を紹介し、再エネ設備の導入を推進した。	B	ホームページや広報誌で再生可能エネルギー推進の啓発をするとともに、市の補助制度（家庭用蓄電池システム及び太陽光発電システムとの同時設置導入補助）を紹介する。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	市有施設への太陽光発電の導入を検討します。	令和4年度から	市有施設への太陽光発電の導入を検討する。	市役所分庁舎、伊保スポーツ広場に太陽光発電を導入した。	B	市有施設への太陽光発電の導入を検討する。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	市有施設の新築の際はZEBの積極的な採用を検討します。	令和4年度から	公共施設への太陽光発電の導入方針を検討する。	公共施設等への再エネ・省エネ設備導入方針を策定した。	B	策定した公共施設等への再エネ・省エネ設備導入方針に基づき、積極的な採用を検討していく。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	市民・事業者の再生可能エネルギーの導入に対して支援を行います。	令和4年度から	市民に対して、家庭用蓄電池システム及び太陽光発電の同時設置について導入補助を実施する。事業者については、支援を検討する。	蓄電池47件、蓄電池+太陽光38件の補助金交付を行った。事業者支援については、中小事業者への支援についてR5年度予算措置を行った。	B	市民に対して、家庭用蓄電池システム及び太陽光発電の設置について導入補助を実施する。事業者については、事業者脱炭素化設備等導入の支援制度を実施する。	継続
地球温暖化に関する啓発及び情報発信	国、県、その他団体等が行う補助制度について情報提供を行い、利用を促します。	令和4年度から	国等が行う補助制度について情報提供を行う。	ホームページに国等の補助制度の情報提供を行った。	B	国等が行う補助制度について情報提供を行う。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	東播磨臨海広域クリーンセンター（エコクリーンピアはりま）を本格稼働し、ごみに含まれるバイオマスを利用した発電を行うとともに、地域への供給を検討します。	令和4年度から	令和4（2022）年度434,000千円の歳入予算を確保できるよう発電計画を実施する。	令和4（2022）年6月引渡となり実質10箇月の発電であったが929,382千円の収益を上げることができた。	B	本格稼働以降、ごみ発電による再生可能エネルギーの有効活用に努めており、電力地産地消についても令和5年度からの検討業務に関する準備を進めている。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	再生可能エネルギー由来の電力の購入を検討します。	令和4年度から	再生可能エネルギー由来の電力の購入について調査する。	エコクリーンピアはりまのバイオマス発電の利用について研究した。	B	再生可能エネルギー由来の電力の購入について調査する。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	PPAを利用した太陽光発電について検討します。	令和4年度から	PPAを利用した太陽光発電について検討する。	PPA事業者からの提案を受け、調査検討、協議を行った。	B	PPAを利用した太陽光発電について引き続き検討する。	継続
再生可能エネルギーの導入推進	避難所への再生可能エネルギーの導入を検討します。	令和4年度から	避難所への再生可能エネルギーの導入を検討する。	PPA事業者から避難所への再エネ導入の提案を受け、調査検討、協議を行った。	B	PPA事業者から避難所への再エネ導入の提案を受け、調査検討、協議を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
11 省エネルギー行動の促進							
省エネルギー機器導入の推進	ホームページや広報誌等において、省エネルギー機器、省エネルギーの方法や効果等について広く情報提供を行います。	令和4年度から	ホームページや広報誌等において、省エネルギー機器、省エネルギーの方法や効果等について広く情報提供を行う。	ホームページで、省エネルギー機器、省エネルギーの方法や効果等について広く情報提供を行った。	B	ホームページや広報誌等において、省エネルギー機器、省エネルギーの方法や効果等について広く情報提供を行います。	継続
省エネルギー機器導入の推進	市民・事業者の省エネルギー機器の導入に対して支援を行います。	省・再エネルギーを推進と、温室効果ガス削減に向け、蓄電池システムに対して設置補助を実施した。(74件5,000千円)	省エネルギー機器の導入支援として、蓄電池システムに対して設置補助を実施する。	省・再エネルギーを推進と、温室効果ガス削減に向け、蓄電池システムに対して設置補助を実施した。(85件6,150千円)	B	省エネルギー機器の導入支援として、蓄電池システム、太陽光発電システムに対して設置補助を実施する。	継続
省エネルギー機器導入の推進	市有施設の照明のLED化を検討します。	令和4年度から	公共施設の照明をLED化する。	2施設でLED照明を導入した。	B	公共施設の照明をLED化を検討する。	継続
省エネルギー機器導入の推進	国、県、各種団体が実施する各種の機器設置への補助制度について情報提供を行い、利用を促します。	令和4年度から	国等が行う補助制度について情報提供を行う。	ホームページに国等の補助制度の情報提供を行った。	B	国等が行う補助制度について情報提供を行う。	継続
省エネルギー機器導入の推進	ESCO事業等を利用し市有施設の省エネ改修を進めます。	令和4年度から	ESCO事業等を利用した省エネ改修を検討する。	ESCO事業を利用できる省エネ改修に該当するものが今のところない。	B	ESCO事業を利用できる省エネ改修に該当するものが今のところないが、情報収集に努める。	継続
省エネルギー機器導入の推進	事業者に対しESCO事業や省エネ診断の情報提供を行い、利用を検討します。	令和4年度から	ESCO事業や省エネ診断の情報提供を行う。	ESCO事業や省エネ診断をホームページに掲載している。	B	ESCO事業や省エネ診断の情報収集し利用を検討する。	継続
エコドライブの普及啓発	エコドライブの実施について、ホームページや広報誌において啓発を行います。	環境負荷の軽減に配慮した自動車使用の呼びかけを広報たかさご等で啓発を実施した。	エコドライブの実施について、ホームページや広報誌において啓発を行います。	啓発グッズの配布や環境負荷の軽減に配慮した自動車使用の呼びかけを広報たかさごに掲載することで、エコドライブを広く呼びかけた。	B	エコドライブの実施について、ホームページや広報誌、環境フェアで啓発を行います。	継続
省エネルギー行動（節電、省CO ₂ ）の促進	各施設学校等でゴーヤの栽培を促進し、緑のカーテンの育成に取組みます。	令和4年度から	各施設学校等でゴーヤの栽培を促進し、緑のカーテンの育成に取組みます。	環境政策課から各施設学校等に対してゴーヤの苗を配布することで、ゴーヤの栽培を促進し、緑のカーテンの育成に取組むことができました。	B	各施設学校等でゴーヤの栽培を促進し、緑のカーテンの育成に取組む。	継続
省エネルギー行動（節電、省CO ₂ ）の促進	連携中枢都市圏事業として啓発に取組みます。	令和4年度から	連携中枢都市圏事業として啓発に取組む。	連携できる事業がなかった。	B	今後連携できる事業があれば啓発に取組む。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
12 脱炭素型まちづくりの推進							
省エネルギー行動（環境配慮住宅）の促進	CASBEEの届出や緑化の届出、長期優良住宅認定申請、低炭素建築物認定申請等に対し、法令に基づき適正な審査を行います。	緑化届出～8件 CASBEE届出～2件 建築物省エネ法届出～7件	法令に基づき適正な審査を行う。	緑化届出 10件 CASBEE届出 4件 建築物省エネ法届出 8件、認定 14件	B	法令に基づき適正な審査を行う。	継続
省エネルギー行動（環境配慮住宅）の促進	CASBEEの届出や緑化の届出、長期優良住宅認定申請、低炭素建築物認定申請等に対し、法令に基づき適正な審査を行います。	長期優良住宅認定申請～142件 低炭素建築物認定申請～48件	法に基づき適正な審査を行う。	長期優良住宅認定申請 121件 低炭素建築物認定申請 24件	B	法に基づき適正な審査を行う。	継続
省エネルギー行動（環境配慮住宅）の促進	ZEB、ZEHIに関する情報提供を行います。	令和4年度から	省エネルギー行動に関する情報を行う。	ホームページ等で情報発信している。	B	最新情報を収集し、発信する。	継続
次世代自動車の普及啓発	公用車への次世代自動車の導入を促進します。	令和4年度から	公用車更新において電気自動車を導入する。	令和4年度において電気自動車4台を導入し運用を開始した。	B	今年度は公用車の更新はないが、電気自動車への更新に向け検討を進める。	継続
次世代自動車の普及啓発	次世代自動車の普及のため、省エネ性能や効果などを広く情報提供するとともに、導入支援を検討します。	令和4年度から	次世代自動車の普及啓発をするとともに、導入支援を検討します。	次世代自動車等購入補助金制度を創設し、EV49台、PHEV19台に補助を実施し、普及啓発を行った。	B	次世代自動車の普及啓発をするとともに、導入支援制度を実施している。	継続
次世代自動車の普及啓発	電気自動車の充電施設の整備を進めます。	令和4年度から	急速充電設備を市役所駐車場に設置する。	令和4年12月に本庁舎駐車場に設置した。4カ月間で延べ利用回数232回、1日平均2.4人が利用した。	B	本庁舎に設置した充電設備の利用促進とともに、市域の設置について検討している。	継続
地産地消（農業）の推進	地元でとれた農作物の直売所や地元小売店への出荷や学校給食用への利用を促します。	令和4年度から	地元で採れた農作物の直売所や地元小売店への出荷や学校給食用への利用を促進するため、農会長が集まる会議においての作物の出荷販売に関する各種交付金の説明を行い、利用を促した。	6.5haの農地で栽培した野菜を直売所、学校給食用意出荷するように指導した。	B	地元で採れた農作物の直売所や地元小売店への出荷や学校給食用への利用を促進するため、農会長が集まる会議においての作物の出荷販売に関する各種交付金の説明を行い、利用を促す。	継続
地産地消（漁業）の推進	市内で開催しているイベントへの地元漁協の出店を推進します。	令和4年度から	高砂市農林漁業祭等のイベントに高砂・伊保漁協の海産物を出品。	イベントの開催時期に出品物の生産時期が合わず出店は見送った。	C	市内で開催しているイベントへの地元漁協の出店を推進します。	継続
フロンガスの適正管理	空調機類のメンテナンスやフロンガス回収に関する情報提供を行います。	令和4年度から	フロン等に関する内容についてホームページで周知を行っている。	フロン等に関する内容についてホームページで周知している。	B	フロン等に関する内容についてホームページで周知を行う。	継続
公共交通機関の利用推進	駐輪場の整備を進めるとともに、ノーマイカーデーの実施への協力を呼びかけます。	令和4年度から	・駅前駐輪場の整備を進めていく。 ・「マイバス・マイ電車の日」の定着を目指す。	・駅前駐輪場の整備を進めている。 ・「マイバス・マイ電車の日」について、ホームページやたかさごナビで周知した。	B	・山電曾根駅前駐輪場の整備を進めていく。（R6.1月完成予定） ・「マイバス・マイ電車の日」の定着を目指し引き続き、周知を行う。	継続
自転車活用の推進	「高砂市自転車活用推進計画」に基づき、サイクルツーリズムの推進、市民の健康増進を促進します。	令和4年度から	高砂ちゃいくりんぐマップによる自転車及びレンタルサイクルの活用促進	高砂ちゃいくりんぐマップと駅前の周知看板の設置により利用を促進した。	B	高砂ちゃいくりんぐマップによる自転車及びレンタルサイクルの活用促進	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
空き家の利活用	高砂市空き家バンク制度及び高砂市空き家活用支援事業により空き家の利活用を推進します。	令和4年度から	高砂市空き家バンク制度や高砂市空き家活用支援事業により空き家の利活用を推進する。	空き家バンク登録件数7件、成約件数5件 空き家活用支援事業補助件数3件	B	高砂市空き家バンク制度や高砂市空き家活用支援事業により空き家の利活用を推進する。	継続
炭素吸収に係る取組の推進	脱炭素エネルギーの調達、カーボンオフセットによる吸収量の調達や脱炭素技術等の技術動向を踏まえた炭素吸収による取組を進めます。	令和4年度から	脱炭素エネルギーの調達、カーボンオフセットによる吸収量の調達や脱炭素技術等の技術動向を踏まえた炭素吸収による取組の調査研究を行う。	炭素吸収に係る取組について、調査研究を行った。	B	脱炭素エネルギーの調達、カーボンオフセットによる吸収量の調達や脱炭素技術等の技術動向を踏まえた炭素吸収による取組の調査研究を行う。	継続
省エネルギー行動（環境配慮住宅）の促進	既存住宅省エネ化促進事業により住宅ストックの省エネ化を促進します。	令和4年度から	令和5年度から			既存住宅の省エネ改修に係る計画策定費及び工事費の補助を行う。	継続
13 廃棄物の減量と再資源化							
ごみ減量の推進	出前講座、ごみ処理施設の見学会、環境学習等を実施し、市民の意識向上に取組みます。	令和4年度から	出前講座、ごみ処理施設の見学、環境学習等を実施し、市民の意識向上に取組みます。	・出前講座の実施（ごみの分け方・出し方について）3回、計64名 ・施設見学について、6月から小学校、8月からその他団体・個人の受け入れを開始し、合計2,161人の受け入れを行った。 ・環境学習（リサイクル講座）を9月から開始し、合計887人が参加した。	B	指定ごみ袋制度導入に係る説明会、出前講座、ごみ処理施設の見学、環境学習等を実施し、市民への周知・意識向上に取組む。	継続
ごみ減量の推進	生ごみの減量化（水切りグッズ等の配布）を図ります。	令和4年度から	生ごみの減量化（水切りグッズ等の配布）を図ります。	7月に本庁、各地区支所、エコクリーンピアはりまにおいて水切り袋ストックの配布を行った（約5,000袋）。また、水切り器具である、水切りダイエットを随時配布した。	B	7月に本庁、各地区支所、エコクリーンピアはりまにおいて水切り袋ストックの配布を行う。	継続
ごみ減量の推進	ダンボールコンポストの普及や電動式生ごみ処理機購入費の助成を行い、生ごみの減量化を図ります。	令和4年度から	ダンボールコンポストの普及や電動式生ごみ処理機購入費の助成を行い、生ごみの減量化を図ります。	7月にダンボールコンポストを87個無料配布した。電動式生ごみ処理機購入費の助成を16件行った。	B	7月にダンボールコンポストを配布する。電動式生ごみ処理機購入助成金を4件交付済み。	継続
再資源化の推進	事業者に対し、「事業系ごみ処理マニュアル」を配布し、事業者への周知に取組みます。	令和4年度から	事業者に対し、「事業系ごみ処理マニュアル」を配布し、事業者への周知に取組みます。	事業系ごみ処理マニュアルを随時配布した。	B	事業系ごみ処理マニュアルを事業者に配布し、事業者への周知に取組んでいる。	継続
廃棄物の適正処理	ごみの自己搬入時においては展開検査を実施し、ごみの適正排出の指導を行います。	令和4年度から	ごみの自己搬入時においては展開検査を実施し、ごみの適正排出の指導を行います。	平均1日5台展開検査を実施し、ごみの適正排出の指導を実施した。	B	平均1日5台展開検査を実施し、ごみの適正排出の指導を実施している。	継続
再資源化の推進	ごみの分け方・出し方の全戸配布、ごみ分別辞典・アプリによる情報配信を行い、ごみの減量・再資源化の周知啓発を行います。	令和4年度から	ごみの分け方・出し方の全戸配布、ごみ分別辞典・アプリによる情報配信を行い、ごみの減量・再資源化の周知啓発を行います。	ごみの分け方・出し方の全戸配布、ごみ分別辞典・アプリによる情報配信を行い、ごみの減量・再資源化の周知啓発を行った。	B	ごみの分け方・出し方の全戸配布、ごみ分別辞典・アプリによる情報配信を行い、ごみの減量・再資源化の周知啓発を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
再資源化の推進	不用品のリユースを推進します。	令和4年度から	不用品のリユースを推進します。	ジモティー等のフリマサイトアプリの活用を周知するとともに、不用となったベビー用品の提供を呼びかけた。（10月、令和5年2月の2回、不用となったベビー用品の抽選による貸出を実施した。）	B	ジモティー等のフリマサイトアプリの活用を周知するとともに、不用となったベビー用品の提供を呼びかけている。	継続
再資源化の推進	紙類・布類の分別徹底に取組むとともに、拠点回収及び店頭回収の利用推進により、使用済み小型家電や食品トレイの再資源化を推進します。	令和4年度から	紙類・布類の分別徹底に取組むとともに、拠点回収及び店頭回収の利用推進により、使用済み小型家電や食品トレイの再資源化を推進します。	紙類の分別徹底のために、本庁、各地区支所において、雑がみりサイクル袋を随時配布した。また、分別徹底、再資源化の推進についてホームページや広報誌等で周知した。	B	紙類・布類の分別徹底に取組むとともに、拠点回収及び店頭回収の利用推進により、使用済み小型家電や食品トレイの再資源化を推進する。	継続
再資源化の推進	主に事業者から排出される剪定枝・草の再資源化、機密書類の再資源化を図ります。	令和4年度から	主に事業者から排出される剪定枝・草の再資源化、機密書類の再資源化を図ります。	1,311トンの剪定枝・草、49.5トンの機密書類を再資源化した。	B	主に事業者から排出される剪定枝・草の再資源化及び機密書類の再資源化を図る。	継続
廃棄物の適正処理	ごみステーションの排出状況パトロールや資源ごみの持ち去り対応を行います。	令和4年度から	ごみステーションの排出状況パトロールや資源ごみの持ち去り対応を行います。	資源物持ち去りに対するパトロールを実施した。	B	ごみステーションの排出状況パトロールや資源ごみの持ち去り対応を行う。	継続
廃棄物の適正処理	関係機関等と協力し、不法投棄パトロール等を実施します。	令和4年度から	関係機関等と協力し、不法投棄パトロール等を実施します。	関係機関等と協力し、不法投棄に対応した。	B	関係機関等と協力し、不法投棄パトロール等を実施する。	継続
廃棄物の適正処理	マイバッグ、マイ箸、マイボトルなどの利用推進によりごみの排出抑制を図ります。	令和4年度から	マイバッグ、マイ箸、マイボトルなどの利用推進によりごみの排出抑制を図ります。	マイバッグの利用についてホームページや出前講座等で周知した。	B	マイバッグ、マイ箸、マイボトルなどの利用推進によりごみの排出抑制を図る。	継続
資源ごみ集団回収の推進	資源ごみ集団回収活動への支援（奨励金の交付）を行います。	集団回収活動の実績として99団体が528回実施した。	資源ごみ集団回収活動への支援（奨励金の交付）を行います。	集団回収活動の実績として95団体が520回実施した。	B	資源ごみ集団回収活動への支援（奨励金の交付）を行う。	継続
食品ロスの削減	フードドライブの実施や「たかさご食べきり運動」の推進などにより、食品ロスの削減を図ります。	令和4年度から	フードドライブの実施や「たかさご食べきり運動」の推進などにより、食品ロスの削減を図ります。	フードドライブを9月7日～9日及び令和5年1月18日～20日に実施し、合計1,145.91kgの食品の提供があった。また、ホームページで「たかさご食べきり運動」について周知した。	B	フードドライブの実施や「たかさご食べきり運動」の推進などにより、食品ロスの削減を図る。	継続
プラスチックごみの削減	レジ袋やストロー等のワンウェイプラスチック製品の使用削減を広く求めています。	令和4年度から	レジ袋やストロー等のワンウェイプラスチック製品の使用削減を広く求めています。	ワンウェイプラスチック製品の使用削減についてホームページ等で周知した。	B	レジ袋やストロー等のワンウェイプラスチック製品の使用削減を広く求めている。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
14 気候変動への適応							
適応策に係る情報収集	気候変動の現状と市民・事業者が実施可能な適応策をホームページ等により広く情報提供します。	地球温暖化対策地域協議会を1月に1回開催し、委員の活動報告、地球温暖化対策について協議した。又、国・県等主催の地球温暖化対策に関する研修会に参加した。	国、県等の研修会等に参加し、地球温暖化適応策について国・県や社会的動向を注視する予定	国・県等主催の球温暖化対策に関する研修会に参加した。	B	国・県等主催の気候変動の適応策、緩和策に関する説明会等に参加し、施策を検討している。	継続
適応策に係る情報収集	熱中症予防に関する情報提供を進めます。	令和4年度から	かみかみ百歳体操の訪問や、巡回結核・肺がん検診時にチラシを配布し、情報提供を行う。	かみかみ百歳体操の訪問や、巡回結核・肺がん検診時にチラシを配布し、情報提供を行った。	B	かみかみ百歳体操の訪問などでチラシを配布し、情報提供を行う。	継続
ヒートアイランド対策の実施	公園、公共施設、街路樹などのみどりを適切に管理します。	令和4年度から	樹木等の適切な管理を行う。	樹木等の適切な管理を行った。	B	樹木等の適切な管理を行う。	継続
ヒートアイランド対策の実施	家庭や事業所の緑化を促進します。	令和4年度から	こども園・市内施設で実施した緑のカーテンの展示を行う。	市内3か所で成果を展示しコンテストを行った。	B	緑のカーテンコンテストを展示し、啓発。一般投票により、表彰する。	継続
気候変動適応策の推進	ハザードマップを広く周知するとともに、定期的に見直します。	令和4年度から	ハザードマップの活用方法や適切な避難行動がとれるよう検討する「マイ避難カード」作成を出前講座等の形式で実施する。	出前講座等を、32回864人の参加を得て実施した。	B	ハザードマップの活用方法や適切な避難行動がとれるよう検討する「マイ避難カード」作成を出前講座等の形式で実施する。	継続
気候変動適応策の推進	土砂災害、洪水被害、内水氾濫への防災・減災対策を実施します。	令和4年度から	松村川河川改修事業および高潮対策事業を行った。	護岸改修70m実施、松村川防潮水門・排水機場建設工事継続	B	松村川河川改修事業および高潮対策事業を実施。	継続
災害廃棄物の適正処理の推進	高砂市災害廃棄物処理計画を策定し、迅速かつ適正な処理を推進します。	令和4年度から	高砂市災害廃棄物処理計画を策定し、迅速かつ適正な処理を推進します。	災害廃棄物処理計画策定に向け、庁内関係部署と協議、調整を進めた。	B	高砂市災害廃棄物処理計画を策定する予定としている。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標4 学びを通じ、環境行動力を育みます【環境学習】							
15 事業における環境保全活動							
事業所における環境学習	事業者と連携し、小学生、中学生を対象に「エコ教室サポートガイド事業」を実施します。	・大阪ガス㈱（エコクッキング）開催回数：3回 参加人数：382名	事業者と連携し、小学生、中学生を対象に「エコ教室サポートガイド事業」を実施します。	・大阪ガスネットワーク㈱（エコクッキング）開催回数：5回、参加人数：324名 ・㈱タクマ（ごみを考える）開催回数：1回、参加人数：49人	B	事業者と連携し、小学生、中学生を対象に「エコ教室サポートガイド事業」を実施する。	継続
下水施設の見学	下水施設の見学により、家庭から出る汚水の処理について関心を高めます。	コロナの影響により、令和3年度は無し。	家庭からの汚水が処理される工程を見学	施設見学受入件数1件（100名）	B	家庭からの汚水が処理される工程を見学	継続
水源地の見学	水源地の見学により、水道水について関心を高めます。	施設見学受入件数水源地：1件	水道の水ができるまでの工程を見学	施設見学受入件数水源地：1件	B	水道の水ができるまでの工程を見学	継続
東播臨海広域クリーンセンター（エコクリーンピアはりま）の見学	エコクリーンピアはりまの見学により、ごみ処理についての関心を高めます。	広域ごみ処理施設建設中の為、中断	エコクリーンピアはりまの見学により、ごみ処理についての関心を高めます。	施設見学について、6月から小学校、8月からその他団体・個人の受け入れを開始し、合計2,161人の受け入れを行った。	B	エコクリーンピアはりまの見学により、ごみ処理についての関心を高める。	継続
16 学校等での学習							
環境に関する授業の実施	地域ボランティアを学校に招き、環境学習を実施します。	コロナ禍において、できる範囲で地域ボランティアを学校に招き、環境教育を実施した。	地域ボランティアを学校に招き、環境学習を実施している。	コロナ禍において、できる範囲で地域ボランティアを学校に招き、環境教育を実施した。	B	地域ボランティアを学校に招き、環境学習を実施している。	継続
環境に関する授業の実施	ダンボールコンポストを使ったリサイクル体験学習を実施します。	小学校4年生を対象に環境学習としてダンボールコンポストを使ったリサイクル体験学習を実施した。（6校）	ダンボールコンポストを使ったリサイクル体験学習を実施します。	小学校4年生を対象に環境学習としてダンボールコンポストを使ったリサイクル体験学習を実施した。（6校）	B	ダンボールコンポストを使ったリサイクル体験学習を実施する。	継続
地産地消体験学習	小学校で実施している給食に兵庫県産の食材を使用します。	小中学校で実施している給食に兵庫県産の食材を使用した。	小中学校で実施している給食に兵庫県産の食材を使用する。	小中学校で実施している給食に兵庫県産の食材を使用した。	B	小中学校で実施している給食に兵庫県産の食材を使用している。	継続
エコ教室の実施	「エコ教室」として事業者が学校等で授業が実施できる制度を準備し、学校での実施を斡旋します。	大阪ガス㈱（エコクッキング）開催回数：3回 参加人数：382名	「エコ教室」として事業者が学校等で授業が実施できる制度を準備し、学校での実施を斡旋します。	・エコクッキング（大阪ガスネットワーク㈱、5回、324名） ・加古川河口干潟観察（ひょうごグリーンサポーター1回、62名） ・ごみを考える（㈱タクマ、1回、49名）	B	「エコ教室」として事業者が学校等で授業が実施できる制度を準備し、学校での実施を斡旋します。エコクッキング（大阪ガスネットワーク㈱、5回、324名、さらに1回予定）	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組進捗状況調査表

<評価>
 A:積極的に取り組み、実績、効果ともに過年以上であった。
 B:取組、実績、効果ともに過年並である。
 C:実績が十分ではなく、取組について改善の余地がある。

具体的施策	取組	令和3（2021）年度実績	令和4（2022）年度実績			令和5（2023）年度取組状況	令和6（2024）年度取組予定
			内容	結果	評価		
基本目標4 学びを通じ、環境行動力を育みます【環境学習】							
エコ教室の実施	「エコ教室」として事業者が学校等で授業が実施できる制度を準備し、学校での実施を斡旋します。	新型コロナウイルス感染症のため、学校からの依頼がなく、実施回数0回。	小中学校・幼稚園等における環境に関する授業、行事等の取組を推進する。	こども園、幼稚園等で地球温暖化に関することや環境学習を行った。（緑のカーテンをつくろう） 開催回数：9回 参加人数：310人	B	「エコ教室」として事業者が学校等で授業が実施できる制度を準備し、学校での実施を斡旋します。 こども園、幼稚園等で地球温暖化に関することや環境学習を行った。（緑のカーテンをつくろう） 開催回数：9回 参加人数：306人	継続
17 環境理解の推進							
自然観察会の実施	自然観察会を実施しホームページにてその内容を公開します。	ため池周辺で水や木の役割を散策や工作を通じて学ぶ環境学習を実施した。 参加数：小学生親子14名	ため池周辺を散策し、ため池に生息する生物の観察する自然観察会を実施する。	参加申込者がいなかったため、実施できなかった。	C	内容を見直し、自然観察会を実施。 ・11月5日（日）開催、参加者数19名（小学生8名、保護者9名、未就学児2名）	継続
生物の観察体験	放課後こども教室において、自然に触れ合うことで環境への意識を高めます。	新型コロナウイルス感染症のため、学校からの依頼がなく、実施回数0回。	放課後子ども教室において、自然に触れ合うことで環境への意識を高める内容を実施するもの。	新型コロナウイルス感染症のため、学校からの依頼がなく、実施回数0回。	C	廃止につき、取組なし	廃止
環境講座の実施	高齢者大学や市民養成講座にて環境に関する講座を開催します。	4回実施 参加人数107人	高齢者大学で「環境に関する学習について」のテーマで講座を実施。	実施回数6回 参加人数196人	B	高齢者大学で「環境に関する学習について」のテーマで講座を実施予定。	継続
環境講座の実施	高齢者大学や市民養成講座にて環境に関する講座を開催します。	令和3年度開催の市民教養講座は、健康づくりに関するテーマをメインに開催したため、環境に関する講座は開催しなかった。	市民教養講座の中で、可能であれば、環境に関するテーマも取り入れたいと考えている。	令和4年度開催の市民教養講座は、健康づくりに関するテーマをメインに開催したため、環境に関する講座は開催しなかった。	B	市民教養講座の中で、可能であれば、環境に関するテーマも取り入れたいと考えている。	継続
環境体験学習の実施	豊かな海協議会が実施している「浜のかあちゃん」事業を実施します。	令和4年度から	市内こども園、幼稚園等にて地元で水揚げされた海産物を使用したクッキングと環境及び漁業の講習を行った。	市内こども園、幼稚園等で開催した。（21回523名）	B	豊かな海協議会が実施している「浜のかあちゃん」事業を実施します。	継続
環境保全に資する情報の発信	広報誌、ホームページ等において、環境に関する情報発信を行います。	広報誌やホームページ等において、市の取り組みや地球温暖化対策、環境保全対策等、環境に関する情報発信を行った。	広報誌、ホームページ等において、環境に関する情報発信を行います。	広報誌やホームページ、フェイスブック等において、市の取り組みや地球温暖化対策、環境保全対策等、環境に関する情報発信を行った。	B	広報誌、ホームページ等において、環境に関する情報発信を行います。	継続
環境保全に資する情報の発信	広報誌、ホームページ等において、ごみ減量化・再資源化に関する情報発信を行います。	広報たかさご、HP、高砂市公式アプリにおいて、随時ごみ減量化・再資源化に関する情報掲載を行った。	広報誌、ホームページ等において、ごみ減量化・再資源化に関する情報発信を行います。	広報誌、ホームページ等において、ごみ減量化・再資源化に関する情報発信を行います。	B	広報誌、ホームページ等において、ごみ減量化・再資源化に関する情報発信を行う。	継続

第2次高砂市環境基本計画（改訂版） 取組評価

基本目標1 美しく、快適に暮らせるまちにします【生活環境】							
施策の方向性	取組数	評価			事業方向性		
		A	B	C	継続	拡充	廃止
1 地域環境の保全	5	0	5	0	5	0	0
2 環境の監視と情報発信	5	0	5	0	5	0	0
3 景観の保全	7	0	7	0	7	0	0
4 ごみが落ちていないまち	7	0	7	0	7	0	0
合計	24	0	24	0	24	0	0

基本目標2 水と緑の恵みに感謝し、人と自然が共生します【自然環境】							
施策の方向性	取組数	評価			事業方向性		
		A	B	C	継続	拡充	廃止
5 水質汚濁の防止	2	0	2	0	2	0	0
6 水と緑の保全	7	0	7	0	7	0	0
7 健全な水循環の保全	4	0	4	0	4	0	0
8 公園や緑地の管理	3	0	3	0	3	0	0
9 生物多様性保全	6	0	4	2	6	0	0
合計	22	0	20	2	22	0	0

基本目標3 持続可能な脱炭素社会をつくります【地球環境】							
施策の方向性	取組数	評価			事業方向性		
		A	B	C	継続	拡充	廃止
10 再生可能エネルギーの導入促進	10	0	10	0	10	0	0
11 省エネルギー行動の促進	9	0	9	0	9	0	0
12 脱炭素型まちづくりの推進	13	0	12	1	13	0	0
13 廃棄物の減量と再資源化	15	0	15	0	15	0	0
14 気候変動への適応	7	0	7	0	7	0	0
合計	54	0	53	1	54	0	0

基本目標4 学びを通じ、環境行動力を育みます【環境学習】							
施策の方向性	取組数	評価			事業方向性		
		A	B	C	継続	拡充	廃止
15 事業における環境保全活動	4	0	4	0	4	0	0
16 学校等での学習	4	0	4	0	4	0	0
17 環境理解の推進	7	0	5	2	6	0	1
合計	15	0	13	2	14	0	1

全取組	取組数	評価			事業方向性		
		A	B	C	継続	拡充	廃止
合計	115	0	110	5	114	0	1